

平成 30 年度 地域振興委員会 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
市 関 連 事 業 に 対 す る ・ 補 修 要 望 及 び 地 区 内 の 主 要 道 路 の 新 設 改 良 の 実 現	道水路改良・補修等に係る地区要望	市土木事業 5月31日(木) 市土木課へ提出 ・改良補修要望箇所 151箇所(うち追加緊急17箇所) 完了箇所 38箇所(25.17%) ・資材支給申請箇所9箇所(うち9箇所支給) 完了箇所 8箇所(1箇所)	各区の土木要望の取りまとめについては、地域振興委員会の各区長及び土木担当部長が行い、自治振興センターを通じて市へ報告書を提出した。 クリーンセンター関連の地域振興協定から除外された案件については、地元で協議し地区要望として4案件登載した。
	長野原線(市道2-49号線)の改良促進(地域振興協定)	・路線測量の実施 期間;1月~3月 ・対策委員会 2月21日(木) 長野原区	地元の理解もあり、今年度も道路改良の事業化に向けて路線測量を実施することができた。役員が交代しても事業化に向けて円滑な引き継ぎがカギとなる。
	市道2-51号北平念通寺線(旭街道)の改良促進(地域振興協定)	・道路改良工事(施工延長L=124.0m) 工期;7月18日~2月22日	地権者の理解もあり、昨年度に引き続き、一部の区間について改良工事を進めることができた。来年度には工事完了予定。
	樋入り井、市道23号線(上の坊線)の改良促進(地域振興協定)	払下げ国有地の境界立会の実施 2月1日(金)	一部拡幅工事と残りの未舗装部分については、国との払下げ手続きが完了次第、来年度以降に工事を行う予定。
	建設諸事業推進・寄付用地代交付事業★	・各区に対する建設諸事業推進費400,000円 ・寄付による用地14件、用地代83,682円	道路建設基金については、1,010千円積立することができた。
県 関 連 事 業 に 対 す る 改 良 ・ 補 修 要 望 の 実 現	県道・河川改修等に係る地区要望	県土木事業 7月31日(火) 市国県リニア事業課へ提出 ・改良維持要望箇所 53カ所(うち追加緊急6箇所) 完了箇所 4箇所	各区の土木要望の取りまとめについては、地域振興委員会の各区長及び土木担当部長が行い、自治振興センターを通じて市担当課経由で県へ報告書を提出した。
	国道151号交通円滑化推進会議における提言活動	・鼎・松尾・川路・竜丘地区のまちづくり委員会の会長及び市議会議員、関係部課長、自治振興センター所長で構成 ・第1回交通円滑化推進会議 10月25日(木) ・県建設部長への提言活動 11月7日(水) ・飯田建設事務所長への要望活動 11月12日(火)	鈴岡バイパス(仮称)の早期ルート確定及び早期事業化、「松尾八幡町を中心とした国道151号の右折レーン設置等交差点改良計画立案と早期事業化」の要望活動を行った。リニア駅や三遠南信道へのアクセス道路等の整備に重点がおかれている中で、中長期的な視点で他地区と協力し粘り強く要望活動を行わなければならない。
	都市計画道路「大明神原桐林工区」の実現	・国道151号交通円滑化推進会議における提言活動にあわせて要望活動を行った。	国道151号の交通円滑化の提言活動にあわせて、自治振興センターを通じて市担当課経由で県へ報告書を提出した。一部未同意の地権者もいることから、事業化については足踏み状態にある。

平成 30 年度 地域振興委員会 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
	米川 駄科 停線 知久街道の踏切 拡幅改良促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駄科区による新設道路案に関連する地権者への説明 ・ 4者（竜丘地域自治会、駄科区、医療法人輝山会、旭松食品株式会社）による新設道路の早期決定について飯田市国県関連事業課を通じて飯田建設事務所へ要望書を提出 3月8日（金）3名 	<p>駄科区により新設道路案に関連する地権者との交渉を行ってきた。新設道路案の早期決定について周辺事業者とともに要望書を提出することができた。</p>
	竜峡五地区県道 改良促進期成同盟会 における提言活動★	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県建設部長への提言活動 11月7日 ・ 飯田建設事務所長への要望活動 11月12日 ・ 6地区女性委員による飯田建設事務所長への提言活動（地域振興委員会から女性1名出席） 3月13日 	<p>竜峡五地区県道改良促進期成同盟会として、飯田建設事務所長及び県建設部長への要望活動を行った。</p> <p>実現にあたっては、引き続き、粘り強い継続的な提言活動が求められる。</p>
竜丘らしい原風景の維持及び快適環境の創出	古墳・遊歩道整備事業★	<ul style="list-style-type: none"> ・ 整備委員会と古墳の会が連携し塚原二子塚・馬背塚古墳の雑草除去作業を実施 ・ 古墳整備作業と同日に臼井秘境遊歩道の雑草除去作業、ギフチョウ公園除草作業を実施 5月26日（土）52名、8月18日（土）39名 10月13日（土）39名 ・ 4月～1月の期間について地区内個人へ除草作業の委託（221h） 	<p>古墳整備については、全体で行う3回の作業と春から秋にかけて定期的に地域内の個人へ委託して除草作業を行い、景観を保つことができた。</p>
	土地利活用等検討推進事業★	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地利用等検討委員会の開催 第2回 6月18日（月）重点区域のワークショップ 第3回 8月21日（火）目指すべき姿、ゾーン設定 第4回 9月24日（祝）地区内現地視察 第5回 12月5日（水）地区土地利用計画検討 第6回 1月30日（水）地区土地利用計画検討 ・ 竜丘地区土地利用計画について組合回覧による住民への意見聴取 2月19日～3月18日 	<p>地域の土地利用における目指すべき姿、ゾーンの設定等について、計画的に検討を進め、地区独自の「竜丘地区土地利用計画」をまとめることができた。</p>
	ガーデニング推進事業★	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガーデニング寄せ植え講習会 1回実施 11月10日（土）参加者44名 ・ チューリップ、ジニアプロフェュージョン（百日草）畑の管理（竜丘保育園との連携） 5月21日（月）草取り・百日草ポット移植作業 5月29日（火）チューリップ球根掘り体験 6月25日（月）百日草植栽準備、ベニアズマ植栽 6月26日（火）百日草植栽体験 7月20日（金）草取り作業 11月22日（木）百日草、芋づる片付け作業 12月4日（火）チューリップ球根植栽体験 	<p>自然と親しむ保育を目指す竜丘保育園とのマッチングが実現し、園庭の芝植栽体験や遊休農地を活用してチューリップ、百日草の植栽により地域の景観形成の見本となった。</p> <p>太陽光の還元事業でモデル的な取り組みであるが、地域振興委員の負担も大きく、ガーデニング事業について再構築する必要がある。</p>

平成 30 年度 地域振興委員会 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
公共施設の芝生化推進事業★	<ul style="list-style-type: none"> ・竜丘保育園園庭 植栽日 6月12日(火) 植栽方法 ポット苗による植栽 植栽面積 12㎡ (芝生総面積33㎡) 養生期間における水やり当番(休日)の実施 6月16日～8月12日 述べ19日間、19人 ・長野原区民センター広場 長野原区役員による手入れ 芝生面積 57㎡ <p style="margin-left: 20px;">技術指導；(有)小木曾グリーンターフ</p>	<p>売電収益の一部を活用して、芝生化の実証3年目。園庭へ新たに植栽した芝生の生育状況は順調だった。</p> <p>園庭の芝生化については、引き続き園庭周辺への拡大を図りながら、桐林コミュニティ広場の芝生化について、関係者とともに検討していく必要がある。</p>
鷺流峡環境美化推進事業★	<ul style="list-style-type: none"> ・天竜川鷺流峡復活プロジェクト会議の開催 第1回6月6日(水)(総会) ・維持管理・竹林伐採作業 <ul style="list-style-type: none"> ①維持管理 4月～1月 10日間 述べ 258名参加(25h) ②竹林伐採 9月28日(金)～2月25日 58日間 述べ239名参加(1,036h) ・メンバー向け環境教育体験事業 <ul style="list-style-type: none"> ①メンマ用原料調達と一次加工体験 4月21日(土) 20名参加 4月30日(祝) 10名参加 ②天竜川竹いかだ下り体験 9月9日(日)・15日(土)雨天中止 ・講習会事業 <ul style="list-style-type: none"> ①安全講習会 12月15日(土)17名参加 ②自然観察学習 1月12日(土)12名参加 ・各種イベントへの参加(長野原竹宵の会との連携) <ul style="list-style-type: none"> ①100万人のキャンドルナイト出展 5月26日(土) ②介護老健施設ゆうゆう夏祭り出展 7月20日(金) ③売木村Uフェス 7月21日(土) ④時又灯ろう流し出展 8月16日(木) ⑤竜丘文化祭ブース出展 11月11日(日) ・イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> ①「しあわせ桜(仮称)」ライトアップの実施(新規) 3月28日(水)～4月11日(水) ②竜丘リバーサイド研究会との交流会の実施(新規) 7月8日(日)竹灯籠製作&BBQ 21名参加 ③「紅葉・竹灯籠」ライトアップの実施(新規) 11月13日(火)～11月25日(日) ④舟下り紅葉ライトアップ鑑賞ツアー 11月17日(土) 60名参加 ⑤メンマをはじめ地元産食材を使っの秋の味覚交流パーティーの開催(新規)メンマ及びメンマ入り肉まん初披露 11月17日(土)61名参加 	<p>天竜川鷺流峡復活プロジェクトについては、維持管理及び新たなエリアの竹林伐採を実施しながら、不法投棄の減少と良好な道路環境を維持することができた。</p> <p>小学校・高校と連携し、地域の将来を担う人材の育成という視点でお互いに大きな成果につながった。</p> <p>「しあわせ桜」「紅葉」のライトアップに取り組み地域資源の発掘と不法投棄の抑制、地域活性化につながる取り組みとなった。</p> <p>当プロジェクトの活動が地域内外に認知されつつある。持続可能な活動となるよう地域内の理解者を増やししながら、自立できる体制を目指したい。</p> <p>天竜川鷺流峡復活プロジェクトの活動を地域(隣接する地区)と民間が連携し拡大を図り、天竜川流域の地域資源を活かした「かわまちづくりの構想」の検討を進めていきたい。</p>

平成 30 年度 地域振興委員会 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
	<p>⑥しあわせ桜鑑賞舟ツアー 3月30日(土)雨天延期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校との連携事業 <p>①飯田OIDE長姫高校(竜丘班生徒8名+先生1名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンマ原料(幼竹)の収穫と一次加工体験 4月27日(金) ・竹灯籠づくり体験 10月26日(金) ・メンマ入り肉まんづくり体験(新規) 11月2日(金)・17日(土) <p>②竜丘小学校6年生(小学生63名+先生2名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習時間に竹学習を支援 ・メンマ原料(幼竹)の収穫体験 5月9日(水) ・伐採した竹の搬出体験 7月11日(水)・12日(木) ・竹灯籠づくり体験(新規) 7月23日(月) ・プールで竹筏づくり&竹筏乗り体験(新規) 9月5日(水)・6日(木) ・メンマの販売体験(8回 279,500円販売) 10月12日(金)、15日(月)、16日(火)、17日(水)、29日(月)、11月1日(木)、2日(金)11日(日) 竜丘公民館、Aコープあいぱん飯田店 ・感謝のラーメン会 12月18日(火) ・竹林伐採作業体験 2月22日(金)・26日(火) ・舟下り体験 3月8日(金) 	
<p>右岸さくらの会 支援事業</p> <p>天竜川美化活動 推進事業★</p> <p>里山保全活動推 進事業</p>	<p>右岸さくらの会作業への協力 水辺の楽校の整備作業への協力</p> <p>天竜川環境美化活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレチウリ駆除 7月1日(日) 115名参加 ・環境美化作業 2月24日(日) 144名参加 <p>ギフチョウ公園の整備作業は、除草作業のみで古墳整備と同日に実施 8月18日(土)</p>	<p>水辺の楽校、天竜川右岸さくら並木については、関係する諸団体と協力して管理作業を行った。</p> <p>天竜川環境美化活動については、地域自治会の委員はもとより、各区に協力を求め、地域ぐるみで実施することで、アレチウリの退治や除草・樹木の伐採等による河川の環境美化に努めた。</p> <p>昨年度と同様にギフチョウ公園の整備については、古墳・遊歩道作業にあわせて実施することができた。</p>
<p>自然エネルギーの推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共再生可能エネルギー活用認定事業報告会への参加 11月26日(金) 3名参加 <p>売電実績 16,776kwh/年 売電収入 660,253円/年 還元金額 100,000円/年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・売電収入還元先 ガーデニング推進事業並びに芝生化実証事業にて活用した。 ・視察対応並びに講師派遣 中部環境先進5市担当者会議にて現場見学と説明 新城自然エネルギー(株)地域貢献事業への講師派遣 	<p>売電収益は、地域課題を解決するための公益性の高い住民自治活動としてガーデニング事業並びに芝生化実証事業に活用した。</p> <p>当該事業に係るコンサルティングについては、おひさま進歩エネルギー(株)のサポートを受け円滑に運営することができた。</p> <p>竜丘地域の環境への取り組みに対する視察や講師派遣依頼が増えており、地域内外から注目が高まっている。</p>

平成 30 年度 地域振興委員会 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
	小水力発電実証実験可能性調査事業★	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀良井発電所の点灯式及び見学会への参加 1月17日(木) 7名参加 	他地区におけるマイクロ水力発電事業の動向を見ながら、必要に応じて調査研究を進めていきたい。
地域内産業の連携促進及び産業強化に向けた環境づくり支援	地元企業との懇談等による経済活動の側面的支援	<ul style="list-style-type: none"> 桐林環境産業公園連絡会総会への出席 6月1日(金) 役員2名出席 桐林環境産業公園20周年記念祝賀会兼共同看板完成祝いへの出席 1月22日(火) 役員2名出席 桐林環境産業公園周辺道路の除草の実施 10月12日(金) 役員12名出席 11月18日(日) 桐林区役員11名出席 地域内事業者へのアンケート調査を自治会協力費の納付書発送時期にあわせて実施 	桐林環境産業公園周辺のごみ拾い作業にあわせて周辺道路の除草作業を初めて実施した。 事業者との懇談会や地域の事業者に対するアンケート調査により道路や安全施設等について地区要望として取り上げ補修・改良につながった。
	元気の出る事業★	本年度申請がなく実績はありません	申請がなく残念であった。限られた財源ではあるが有効に利用いただけるように周知していきたい。
	時又灯ろう流し・各区祭支援事業	時又灯ろう流しへの支援 200,000円 各区祭への支援(新規) 250,000円(50,000円×5地区)	各区のお祭が充実し発展するために新たな試みとして取り組むことができた。
	農業振興会議と連携し遊休農地対策推進事業への協力支援★	<ul style="list-style-type: none"> 臼井原地区荒廃地へのめん羊放牧 農業振興会議総会並びに学習会の実施 7月12日 3名出席 農業振興会議 人・農地プラン支援説明会の開催 2月14日(木) 2名出席 	農業振興会議と連携し、臼井原地区の遊休農地にめん羊の放牧を継続実施中。 地元産メンマ等を活用した特産品の開発等を提案していきたい。
	地域ぐるみによる「地産地消」運動の展開★	<ul style="list-style-type: none"> 「竜丘産を食べまいか運動」ポスターの掲示継続 天竜川鷲流峡復活プロジェクト、長野原笑ったり寄ったり(加工販売グループ)、(有)あちの里、丸昌稲垣(株)との連携によるメンマの製造と販売 販売額795,000円(H29年度133,300円) (PJ製造272,500円、(有)あちの里製造292,500円、丸昌稲垣(株)製造230,000円) (利益はすべて鷲流峡PJ整備費用へ補てん) 地域商品券による域内消費の推進(商工会議所竜丘支部との連携事業) 地域自治会委員活動手当の一部に地域商品券(500円/枚)を支給1,370枚(685,000円分) 対象とする5つの作業に参加した場合に地域商品券を支給(新規)325枚(162,500円分) 	食べまいか運動の周知やポスターの更新等が課題となっており、再構築する必要がある。 竜丘産メンマについては、グループや事業者、小学生や高校生と連携したことにより製造と販売が拡大し、域内消費と知名度を高めることができた。 今年度は新たに地域の作業に参加した人に対して地域商品券を支給し、域内消費に貢献することができた。

平成 30 年度 地域振興委員会 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
隣接地区との交流 懇談の促進	まちづくり委員会交流・懇談会事業★	<ul style="list-style-type: none"> 伊賀良・竜丘地区交流懇談会の開催（当番地区） 9月26日（水） 18名出席 意見交換会「県道時又中村線における不法投棄」 川路・三穂・竜丘・龍江地区交流懇談会の開催 10月17日（水） 18名出席 研修会 講師；佐藤良子 （立川市大山自治会 相談役） 「大山自治会の取り組み 組合加入率100%」 松尾・竜丘・下久堅地区交流懇談会の開催 11月5日（月） 14名出席 ニューススポーツ交流会 横浜との交流（新規） 交流会の開催 8月3日（金） 20名出席 物販交流の実施 11月10日（土）～11日（日） 竜丘文化祭 11月24日（土）～25日（日） 反町緑道フェスタ 	<p>龍江・川路・竜丘地区交流懇談会については、三穂地区を加えて4地区による開催となった。</p> <p>交流懇談会を毎年開催しているが役員の負担も多いことから隔年開催等を検討する必要がある。</p> <p>横浜との交流会を初めて企画したが、今後はリニア大交流時代を見据えて大都市圏との交流機会を増やし関係人口の拡大を図りたい。</p>
地域自治会の情報発信機能の強化	ホームページデジタルアーカイブ構築事業	<p>広報誌「たつおか四季報」の編集委員会の開催と発行 竜丘地域自治会ホームページの管理 Face book やプレスリリースによる情報発信</p>	<p>広報誌「たつおか四季報」をカラー版で年4回発行した。 公民館報との差別化、内容の調整が課題である。</p> <p>各事業の開催前には積極的にプレスリリースを行い、情報発信することができ、マスコミを通じて多くの方に関心を持ってもらえた。</p>
東京竜丘会との交流促進及び連携強化	東京竜丘会事業	<p>5月13日（日） 参加者74名（竜丘地区20名・会員43名・来賓11名） 第1部 東京竜丘会総会 第2部 ①木下長志さんを偲ぶ ②講演会 「代田稔博士の生涯と乳酸菌シロタ株について」 ヤクルト本社中央研究所 代田 智氏 ③懇親会</p>	<p>会員の高齢化等もあり参加者数は減少傾向にある。</p> <p>竜丘側の参加者が市のマイクロバスが利用できる規模であったため事業経費を抑えることができた。</p>